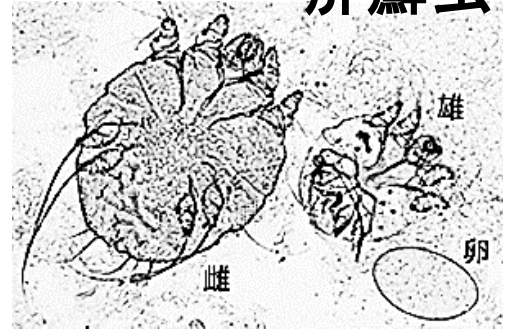


疥癬 (かいせん)

疥癬虫

・疥癬虫(ヒゼンダニ)が皮膚に寄生し、夜眠れないほど激しくかゆい、赤い小さなボツボツが出る 感染性の寄生虫病です。

疥癬虫は吸血しません。この寄生虫病による、生命の危険もありません。他の細菌、ウイルス等を媒介することも知られていません。とても小さい虫で、肉眼では見えません。



・頭、顔には症状が出ません。虫が完全に駆除された後も、皮膚のかゆみや発疹が完全に消えるまで、最悪の場合、1年もかかることがあります。

・ある程度の時間、肌と肌が直接接触することで、ダニが付着して感染します。瞬間的な接触で感染することはありません。衣類、布団、シーツ、ベッドなどを共用して感染した事例もあります。

・潜伏期間は、安全をみて長くとれば2か月間です。

・疥癬虫は熱・乾燥に弱い虫で、50℃以上では10分間程度で死滅します。ヒトの皮膚から離れると、数時間で感染力が低下します。

・一人あたりの寄生数は、5匹以下のことが多いとされています。思ったよりもずっと少数なので、一回の検査では見つからないことも多いです。いちど見つからなかったから大丈夫、ではありません。

・内服薬(のみ薬)：駆虫剤(ストロメクトール)を、通常、2回飲みます。間隔は、なるべく正確に1週間隔です。

・外用剤(ぬりぐすり)：週1回「スミスリンローション」を1本全部(30g)、首から下の全身に(首を含める)、ボツボツがなくても、みじんのスキもなく塗ります。とくに、手足、外陰部にはがっちりと。12時間たったら、入浴またはシャワーで洗い落とします。

それ以外の時は、朝晩2回、オイラックスクリームを、同様にスキなく塗ります。

・洗濯物は、ビニール袋に入れて運ぶことが勧められます。毎日入浴します。

・長時間の肌と肌の触れ合いを避けてください。同室で布団を並べて寝ないでください。タオルなど直接接触れるものを共用しないでください。接した後は、よく手を洗いましょう。

・過剰すぎる予防、対策のために、疲弊しないようにしましょう。

・ほとんどの患者様は「通常疥癬」です。このほかに「あか」がたまって分厚くなったような重症型で、なんと何百万匹ものダニがいて、強力な感染力がある「角化型疥癬」があります。これは特殊な状態なので、本説明書では「通常疥癬」について説明しました。